

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社 鶴弥
 コード番号 5386 URL <http://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 杉原 隆義
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東 名

TEL 0569-29-7311

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	8,847	—	352	—	148	—	14	—
20年3月期第3四半期	9,318	△2.3	540	△39.1	486	△43.0	267	△44.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1.83	—
20年3月期第3四半期	34.42	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	20,107	—	8,906	—	44.3	—	1,148.14	—
20年3月期	19,948	—	9,045	—	45.3	—	1,165.94	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 8,906百万円 20年3月期 9,045百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,026	△5.3	381	△28.1	102	△70.0	△17	—	△2.25

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 7,767,800株 20年3月期 7,767,800株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 10,099株 20年3月期 10,099株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 7,757,701株 20年3月期第3四半期 7,757,701株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月31日に発表しました通期の業績予想は、本資料において修正しております。詳細につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国発の金融危機が世界的な金融危機へと広がりを見せる中、円高の進行や株価の下落、不動産市況の低迷などにより景気後退の局面を迎えております。

当業界におきましても、個人消費の停滞感が一層の強まりを示す中、昨年に比べ改善しつつあった新設住宅着工戸数が11月には同月としては1965年の調査開始以来4番目に低い水準に終わるなど、依然として厳しい状況が続いております。三州地区におきましても11月に中堅メーカー3社が業務提携を発表するなど、生き残りを賭けた動きが始まっております。

このような情勢下、当社の当第3四半期の業績は、思いきった製品の在庫調整を実施し、期首に比べ当第3四半期末で約5億円圧縮し、また、年初来の課題であった営業力強化と原油価格の落ち着き等に伴う製造経費の削減や役員賞与のカットなども実施し、回復基調に転じました。

この結果、当第3四半期会計期間における売上高は2,934百万円、営業利益273百万円、経常利益219百万円、四半期純利益106百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産額は、前事業年度末に比べ159百万円増加し20,107百万円となりました。負債総額は、前事業年度末に比べ297百万円増加し11,200百万円となりました。これらは主に、当四半期会計期間の末日が金融機関の休日にあたった影響によるものです。純資産は、前事業年度末に比べ、138百万円減少し8,906百万円となり、自己資本比率は44.3%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第2四半期会計期間末に比べて536百万円増加し1,260百万円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、632百万円となりました。

これは主に、当四半期会計期間の末日が金融機関の休日にあたった影響に伴う仕入債務の増加額433百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出25百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、92百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出55百万円及び配当金の支払額37百万円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

原材料仕入価格の騰勢は収束しつつありますが、個人消費の停滞感が一層の強まりを示しつつあります。第4四半期におきましても、市場環境は不透明で、一段と厳しい状況になることが予想されます。このような状況並びに当第3四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成20年10月31日に発表しました平成21年3月期の業績予想に対し、次表のとおり修正いたします。なお、引き続き役員賞与のカットなど自助努力は継続してまいります。

	今回予想	平成20年10月31日に 発表した従来予想
売上高 (百万円)	11,026	11,594
営業利益 (百万円)	381	350
経常利益 (百万円)	102	66
当期純利益 (百万円)	17	17
一株当たり当期純利益 (円)	2.25	2.30

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益は15,601千円減少し、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ15,601千円減少しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,272,107	657,033
受取手形及び売掛金	2,395,471	1,616,307
商品	64,243	64,772
製品	1,807,051	2,308,183
原材料	24,265	31,049
仕掛品	51,059	57,185
その他	334,677	381,323
貸倒引当金	△133,468	△55,219
流動資産合計	5,815,407	5,060,636
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,970,470	2,032,855
機械及び装置（純額）	2,052,906	2,397,260
土地	9,153,286	9,163,376
建設仮勘定	17,259	41,277
その他（純額）	523,657	589,272
有形固定資産合計	13,717,581	14,224,042
無形固定資産	18,964	26,525
投資その他の資産		
投資有価証券	186,520	249,979
その他	545,219	589,427
貸倒引当金	△176,266	△202,527
投資その他の資産合計	555,473	636,879
固定資産合計	14,292,018	14,887,447
資産合計	20,107,426	19,948,083

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,304,269	1,751,631
短期借入金	5,300,000	5,300,000
1年内返済予定の長期借入金	495,000	458,000
未払法人税等	8,478	44,957
賞与引当金	45,589	192,757
その他	749,236	524,618
流動負債合計	8,902,573	8,271,964
固定負債		
長期借入金	1,610,000	1,930,000
退職給付引当金	55,675	63,214
役員退職慰労引当金	625,275	629,726
その他	7,000	8,164
固定負債合計	2,297,950	2,631,104
負債合計	11,200,524	10,903,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	3,795,227	3,897,371
自己株式	△5,703	△5,703
株主資本合計	8,900,848	9,002,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,052	42,021
評価・換算差額等合計	6,052	42,021
純資産合計	8,906,901	9,045,014
負債純資産合計	20,107,426	19,948,083

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	8,847,035
売上原価	7,089,395
売上総利益	1,757,639
販売費及び一般管理費	1,405,036
営業利益	352,602
営業外収益	
受取利息	5,812
受取配当金	5,446
その他	24,149
営業外収益合計	35,408
営業外費用	
支払利息	80,529
手形売却損	13,070
工場休止に伴う諸費用	145,426
営業外費用合計	239,026
経常利益	148,984
特別利益	
固定資産売却益	4,587
特別利益合計	4,587
特別損失	
投資有価証券評価損	16,762
固定資産除売却損	6,313
貸倒引当金繰入額	6,000
訴訟関連損失	19,010
特別損失合計	48,085
税引前四半期純利益	105,487
法人税、住民税及び事業税	9,306
法人税等調整額	81,959
法人税等合計	91,265
四半期純利益	14,221

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	2,934,538
売上原価	2,217,913
売上総利益	716,625
販売費及び一般管理費	443,000
営業利益	273,624
営業外収益	
受取利息	1,539
受取配当金	1,116
その他	4,835
営業外収益合計	7,491
営業外費用	
支払利息	26,691
手形売却損	2,982
工場休止に伴う諸費用	31,534
営業外費用合計	61,208
経常利益	219,908
特別利益	
固定資産売却益	379
特別利益合計	379
特別損失	
投資有価証券評価損	16,762
貸倒引当金繰入額	2,000
特別損失合計	18,762
税引前四半期純利益	201,526
法人税、住民税及び事業税	3,085
法人税等調整額	91,760
法人税等合計	94,846
四半期純利益	106,679

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	105,487
減価償却費	544,804
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	51,988
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7,538
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,451
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△147,168
受取利息及び受取配当金	△11,258
支払利息	80,529
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,762
売上債権の増減額 (△は増加)	△580,798
たな卸資産の増減額 (△は増加)	520,860
仕入債務の増減額 (△は減少)	552,637
割引手形の増減額 (△は減少)	△180,923
未払費用の増減額 (△は減少)	40,381
その他	242,444
小計	1,223,758
利息及び配当金の受取額	11,223
利息の支払額	△90,740
法人税等の支払額	△41,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,102,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△130,369
有形固定資産の売却による収入	11,670
無形固定資産の取得による支出	△244
貸付金の回収による収入	43,467
その他	△14,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△283,000
配当金の支払額	△115,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△398,116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	615,073
現金及び現金同等物の期首残高	645,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,260,107

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を7～12年としておりましたが、第1四半期会計期間より5～9年に変更しております。

平成20年度法人税法改正を契機として利用状況等を見直した結果、耐用年数を変更しております。

これにより、営業利益は41,860千円減少し、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ47,082千円減少しております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目別	前年同四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
J形瓦	2,329,729	1,657,164	2,659,151
F形瓦	5,969,594	4,601,501	6,986,503
M形瓦	566,091	667,179	729,871
合計	8,865,414	6,925,845	10,375,527

(注) 1. 金額表示は平均売価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社は受注見込みによる生産方式をとっておりますので、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目別	前年同四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)		
	販売金額	構成比 (%)	販売金額	構成比 (%)	販売金額	構成比 (%)	
製品	J形瓦	2,504,078	26.9	2,100,457	23.7	2,996,972	25.7
	F形瓦	5,461,826	58.6	5,313,263	60.1	6,932,022	59.5
	M形瓦	615,204	6.6	688,706	7.8	787,936	6.8
商品	その他	568,596	6.1	534,545	6.0	713,323	6.1
工事売上		168,562	1.8	210,062	2.4	218,381	1.9
合計		9,318,269	100.0	8,847,035	100.0	11,648,636	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		
	金額(千円)		百分比 (%)
売上高		9,318,269	100.0
売上原価		7,137,819	76.6
売上総利益		2,180,449	23.4
販売費及び一般管理費		1,639,682	17.6
営業利益		540,766	5.8
営業外収益		50,696	0.5
営業外費用		105,144	1.1
経常利益		486,318	5.2
特別利益		5,023	0.1
特別損失		16,932	0.2
税引前四半期純利益		474,409	5.1
法人税、住民税及び事業税	120,653		
法人税等調整額	86,704	207,357	2.2
四半期純利益		267,051	2.9

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日) 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	474,409
減価償却費	465,707
貸倒引当金の増減額(減少:)	3,758
退職給付引当金の増減額(減少:)	5,184
役員退職慰労引当金の増減額(減少:)	8,060
賞与引当金の増減額(減少:)	152,209
役員賞与引当金の増減額(減少:)	23,540
受取利息及び受取配当金	8,623
支払利息	65,327
売上債権の増減額(増加:)	226,719
たな卸資産の増減額(増加:)	714,182
仕入債務の増減額(減少:)	193,706
割引手形の増減額(減少:)	859,613
その他	73,830
小計	924,802
利息及び配当金の受取額	8,549
利息の支払金額	66,776
法人税等の支払額	319,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	547,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,157,264
有形固定資産の売却による収入	3,185
無形固定資産の取得による支出	2,391
投資有価証券の取得による支出	1,000
貸付けによる支出	19,600
貸付金の回収による収入	22,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,154,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,100,000
長期借入金の返済による支出	477,000
配当金の支払額	132,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	490,119
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	117,683
現金及び現金同等物の期首残高	1,497,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,380,112

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業の一部に輸出の下げ止まりや、在庫調整の進展に伴う生産の回復は見られるものの、昨年からの世界的な金融危機が及ぼした影響は根強く、企業収益や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等を反映して、引き続き厳しい環境となりました。

当業界におきましても、粘土瓦の需要の動向を大きく左右する新設住宅着工戸数（持ち家）が、平成21年5月では8ヶ月連続で前年割れするなど、雇用・所得環境の厳しさから、販売環境は一段と厳しさを増しました。

このような情勢下、当社といたしましても、販売力を強化し、潜在需要の掘り起こしに努めた結果J形瓦（防災和形瓦）の売上高は、前年同期比104.6%となりましたが、競争の激しい主力製品であるF形瓦（防災平板瓦）の売上高は、前年同期比80.9%に留まり、総売上高は前年同期比87.1%となりました。

コスト面では、原油価格の落ち着きに伴う燃料費の安定があり、販売費及び一般管理費の節減（前年同期比88.3%）にも努めました。また、生産調整の実施により製品在庫の削減（前期末対比297百万円減）を図りました。

この結果、売上高は2,459百万円（前年同四半期比12.9%減）、営業利益120百万円（前年同四半期比335.6%増）、経常利益8百万円（前年同四半期は経常損失77百万円）、四半期純損失5百万円（前年同四半期は四半期純損失76百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産額は、前事業年度末に比べ212百万円減少し19,061百万円となりました。これらは主に、たな卸資産の減少によるものです。負債総額は、前事業年度末に比べ207百万円減少し10,136百万円となりました。これらは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものです。純資産は、前事業年度末に比べ、5百万円減少し8,924百万円となり、自己資本比率は46.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて49百万円減少し708百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期会計期間に比べ57百万円減少し104百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、税引前四半期純利益6百万円（前年同四半期は税引前四半期純損失100百万円）、たな卸資産の減少額302百万円（前年同四半期比4百万円減）、未払費用の増加額298百万円（前年同四半期比76百万円減）等によるものです。減少要因としては、仕入債務の減少額184百万円（前年同四半期比170百万円増）及び割引手形の減少額164百万円（前年同四半期比60百万円減）等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期会計期間に比べ23百万円減少し13百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出9百万円（前年同四半期比24百万円減）等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期会計期間に比べ69百万円増加し140百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出110百万円（前年同四半期比100百万円増）及び配当金の支払額30百万円（前年同四半期比30百万円減）等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績を勘案し、平成21年5月8日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成21年8月5日）別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,331	799,614
受取手形及び売掛金	2,144,373	1,916,778
商品及び製品	1,766,272	2,071,694
仕掛品	51,676	46,949
原材料及び貯蔵品	147,437	149,468
その他	204,882	190,030
貸倒引当金	10,577	12,897
流動資産合計	5,054,396	5,161,639
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,927,061	1,948,692
機械及び装置 (純額)	1,846,659	1,929,997
土地	9,153,286	9,153,286
建設仮勘定	18,522	31,330
その他 (純額)	496,974	500,593
有形固定資産合計	13,442,504	13,563,900
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	226,629	182,821
その他	630,050	658,511
貸倒引当金	308,966	310,774
投資その他の資産合計	547,713	530,558
固定資産合計	14,006,705	14,111,794
資産合計	19,061,101	19,273,433

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,388,672	1,573,668
短期借入金	5,000,000	5,300,000
1年内返済予定の長期借入金	530,000	440,000
未払法人税等	6,925	16,770
賞与引当金	38,030	164,230
その他	779,963	567,273
流動負債合計	7,743,590	8,061,942
固定負債		
長期借入金	1,690,000	1,590,000
退職給付引当金	55,336	53,526
役員退職慰労引当金	631,288	627,974
その他	16,000	10,000
固定負債合計	2,392,624	2,281,500
負債合計	10,136,215	10,343,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	3,819,917	3,863,830
自己株式	5,713	5,713
株主資本合計	8,925,530	8,969,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	644	39,452
評価・換算差額等合計	644	39,452
純資産合計	8,924,886	8,929,990
負債純資産合計	19,061,101	19,273,433

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,825,309	2,459,543
売上原価	2,311,837	1,909,848
売上総利益	513,472	549,694
販売費及び一般管理費	485,698	428,706
営業利益	27,773	120,988
営業外収益		
受取利息	1,465	181
受取配当金	4,329	4,330
保険配当金	3,788	-
その他	6,889	3,918
営業外収益合計	16,473	8,430
営業外費用		
支払利息	26,426	24,336
手形売却損	4,845	2,135
工場休止に伴う諸費用	90,198	93,951
その他	-	7
営業外費用合計	121,470	120,430
経常利益又は経常損失()	77,223	8,987
特別利益		
固定資産売却益	-	280
貸倒引当金戻入額	-	4,127
特別利益合計	-	4,408
特別損失		
固定資産除売却損	6,172	-
関係会社株式評価損	-	6,784
貸倒引当金繰入額	3,000	-
訴訟関連損失	14,273	-
特別損失合計	23,445	6,784
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	100,669	6,611
法人税、住民税及び事業税	16,299	3,091
法人税等調整額	40,921	8,645
法人税等合計	24,622	11,736
四半期純損失()	76,047	5,124

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	100,669	6,611
減価償却費	177,532	165,169
貸倒引当金の増減額(は減少)	17,417	4,127
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,702	1,810
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	44,501	3,314
賞与引当金の増減額(は減少)	143,621	126,200
受取利息及び受取配当金	5,794	4,511
支払利息	26,426	24,336
関係会社株式評価損	-	6,784
売上債権の増減額(は増加)	258,111	69,960
たな卸資産の増減額(は増加)	307,258	302,727
仕入債務の増減額(は減少)	14,609	184,995
割引手形の増減額(は減少)	225,772	164,884
未払費用の増減額(は減少)	374,265	298,206
その他	144,941	94,080
小計	252,060	160,199
利息及び配当金の受取額	5,783	4,151
利息の支払額	61,037	53,059
法人税等の支払額	34,920	6,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,886	104,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	34,337	9,477
有形固定資産の売却による収入	756	140
無形固定資産の取得による支出	244	-
投資有価証券の取得による支出	-	5,000
貸付金の回収による収入	10,826	1,015
その他	14,284	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,283	13,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	300,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	10,000	110,000
配当金の支払額	61,364	30,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,364	140,653
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	53,238	49,282
現金及び現金同等物の期首残高	645,033	757,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,272	708,331

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
J形瓦	542,250	128.4
F形瓦	1,104,938	87.9
M形瓦	184,311	131.7
合計	1,831,500	100.6

(注) 1. 金額は、平均売価によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第1四半期会計期間における製品及び商品の仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)	
製品	J形瓦	36,601	74.6
	F形瓦	86,613	70.4
	M形瓦	8,893	157.1
小計	132,108	74.3	
商品	その他	99,010	68.9
合計	231,118	71.9	

(注) 1. 金額は、仕入価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 商品の「その他」は、S形瓦・いぶし瓦・副資材が主力であります。

(3) 受注状況

当社は受注見込みによる生産方式をとっておりますので、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)	
製品	J形瓦	747,235	104.6
	F形瓦	1,355,134	80.9
	M形瓦	176,294	90.5
小計	2,278,664	88.2	
商品	その他	134,156	77.6
工事売上	46,722	69.2	
合計	2,459,543	87.1	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。